

令和6年度 特別の教育課程の実施状況及び評価等について

守谷市立黒内小学校

1 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程を編成・実施する学校

守谷市立黒内小学校

(2) 特別の教育課程の概要

守谷市保幼小中高一貫教育のスローガン「世界に輝く人づくり」を目指し、急速に進展するグローバル化に対応することができる人材を育成するため、小学校1年生～2年生において、生活科の35時間分（1年生は34時間分）を設定する。「英語活動」においては、守谷市独自に配置している外国語指導助手（ALT）との交流の機会を多く設け、体験的な活動をとおして外国語や異文化を理解し、自他の文化や価値を尊重することができるグローバルな視野や態度の素地を育む学習を行う。

(3) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

守谷市では、保幼小中高一貫教育「きらめきプロジェクト」を推進し、就学前の保育所等でも、英語を用いた遊びなどを積極的に取り入れたり、外国人講師との英語での交流機会を設けたりしている。この保幼小中高一貫教育としての継続性から、就学前の学びを小学校入学後においても継続する必要性がある。

また、外国語教育に関する意識調査からも、外国語に係る学習への興味・関心が高い児童の割合が高く（83%）、将来は国際社会で活躍することを希望する児童生徒も多い。保護者からも本市の外国語教育に係る取組に対して高い支持を得ており、特別の教育課程を編成する必要がある。

(4) 特例の適用開始日

平成23年4月

平成30年4月 変更

平成31年4月 変更

令和2年4月 変更

令和6年4月 継続

(5) 取組の期間

令和8年3月31日まで

2 特別の教育課程の編成・実施計画に基づく実施状況

- 計画通り実施できている
 - ・ 一部、計画通り実施できていない
 - ・ ほとんど計画通り実施できていない

3 特別の教育課程に基づく教育の実施状況に関する自己評価結果

(1) 第1学年児童による評価

- ① 英語活動の時間は、楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	75.3
楽しい	20.7
あまり楽しくない	3.1
楽しくない	0.9

- ② ALT の先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	74
楽しい	22
あまり楽しくない	3.1
楽しくない	0.9

- ③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合(%)
とても話せるようになりたい	76.7
話せるようになりたい	17.2
あまり話せるようになりたくない	4
話せるようになりたくない	2.1

- ④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合(%)
とても知りたい	65.6
知りたい	21.6
あまり知りたくない	7
知りたくない	5.7

(2) 第2学年児童による評価

① 英語活動の時間は、楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	54
楽しい	37
あまり楽しくない	5.7
楽しくない	3.3

② ALTの先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	52.1
楽しい	40.8
あまり楽しくない	4.3
楽しくない	2.8

③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合(%)
とても話せるようになりたい	59.2
話せるようになりたい	30.8
あまり話せるようになりたくない	7.1
話せるようになりたくない	2.9

④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合(%)
とても知りたい	57.3
知りたい	31.3
あまり知りたくない	8.5
知りたくない	2.9

(3) 保護者による評価

① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることについて、どのようにお考えですか。

	割合(%)
とてもよい	87
よい	13
あまりよくない	0
よくない	0

② お子様は、外国語教育の時間を楽しみにしていますか。

	割合(%)
とても楽しみにしている	31
楽しみにしている	57
あまり楽しみにしていない	11
楽しみにしていない	1

③ 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、お子様が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合(%)
とても増えていると思う	26
増えていると思う	59
あまり増えていると思わない	13
思わない	2

④ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、お子様に力が身に付いているとお感じになることはどんなことですか。(複数回答可)

	割合(%)
積極的に楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度	121
(英語を) 聞く力	99
(英語を) 話す力	91
(英語を) 読む力	14
(英語を) 書く力	9
力が身に付いていると思わない	64

⑤ 今後の小学校の外国語教育について、どのようなことを希望しますか。ご意見等があれば、お聞かせください。

- ・ 外国語の授業を増やしてほしい。
- ・ 異文化交流の機会を設けてほしい。
- ・ ネイティブと一対一の会話を増やしてほしい。
- ・ 習熟度別学習をしてほしい。
- ・ 聞く力や話す力がつくようにしてほしい。

(4) 学校関係者（教職員）による評価

- ① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることについて、どのようにお考えですか。

	割合(%)
とてもよい	50
よい	50
あまりよくない	0
よくない	0

- ② 児童は、外国語教育の時間を楽しみにしていますか。

	割合(%)
とても楽しみにしている	0
楽しみにしている	100
あまり楽しみにしていない	0
楽しみにしていない	0

- ③ 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、児童が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合(%)
とても増えていると思う	0
増えていると思う	100
あまり増えていると思わない	0
思わない	0

- ④ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、児童が身に付いているとお感じになることはどんなことですか。（複数回答可）

	割合(%)
積極的に楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度	100
（英語を）聞く力	100
（英語を）話す力	100
（英語を）読む力	50
（英語を）書く力	50
力が身に付いていると思わない	0

- ⑤ 今後の小学校の外国語教育について、どのようなことを希望しますか。

- ・ 少人数のクラスで外国語の授業ができると、児童の発話の機会も増えよいのではないかと思います。
- ・ 45分ではなく短い時間で1週間の授業の回数を増やしたほうが、身につくのではないかと思います。

4 実施の成果と今後の課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により目指す学校の教育目標達成の成果

児童アンケートの結果から、「英語活動の時間が楽しい」と感じている児童、「英語を話せるようになりたい」と感じている児童が9割を超えていることが分かる。また、8割以上の保護者が「英語を繰り返し学ぶ機会が増えている。」と感じている。1・2年生の英語活動では、ペアでジェスチャーを用いながらインタビューをし合い、簡単な英語でやり取りする活動を毎時間行い、コミュニケーション能力の向上を図った。

高学年の授業では、児童同士の対話の時間を増やし、基本的な表現の定着を図った。また、スピーチやプレゼンテーションを行うなど、身に付けた表現を発表する場面の設定も行った。今年度実施の英検 ESG では、受験者の85%以上が9割以上のスコアを獲得した。これらのことから、外国語学習において英語を用いたコミュニケーションを意欲的に図ろうとする態度を育成することができたと考える。

(2) 教育課程全体としてバランスのとれた教育活動が実施され、学校教育法に示す学校教育の目標達成の成果

ALT と教材研究の時間を十分にとり、児童の実態に合わせた授業づくりのために、指導に適した教材の検討を行った。

今年度、児童が英語に触れる時間を増やすために、季節のポップアップルームを実施した。児童は季節の工作をしながら、ALT と自然に英語でやり取りを行った。積極的にALTに英語であいさつをしたり、質問をしたりする児童が増えるなど、英語の授業外の時間にも児童が英語に触れることができる環境づくりができた。

(3) 今後の課題

- ・場面設定など、言語活動の工夫をし、学んだ表現を使って児童が会話できるように指導していきたい。
- ・異文化に触れる時間を設け、児童の外国語への興味関心を高めたい。

5 授業の様子



低学年の様子



高学年の様子